

	2005年	2006年	2007年
主 催	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム
共 催	—	—	—
アドバイザー・コミッティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会
企画制作	CREA / 梶本音楽事務所	CREA / 梶本音楽事務所	CREA / 梶本音楽事務所
オフィシャル・チケット・マネジメント	ぴあ	電子チケットぴあ	電子チケットぴあ
特別協力	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市、読売新聞社、日本テレビ	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市、読売新聞社	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 CULTURESFRANCE、ナント市、 読売新聞社
助 成	平成17年度文化庁国際芸術交流支援事業 フランス外務省フランス芸術文化活動協会	平成18年度文化庁国際芸術交流支援事業 フランス外務省フランス芸術文化活動協会 財団法人アサヒビル芸術文化財団	平成19年度文化庁国際芸術交流支援事業 財団法人 ロームミュージックファンデーション
参加事業	「愛・地球博」パートナーシップ事業 2005年日・EU市民交流年 丸の内元気文化プロジェクト	モーツァルト2006 丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト
会 場	東京国際フォーラム 丸の内周辺エリア	東京国際フォーラム 丸の内周辺エリア	東京国際フォーラム 丸の内周辺エリア
会 期	2005年4月24日（日）～5月1日（日） 〔東京国際フォーラム〕 4月29日（金）～5月1日（日） 〔丸の内周辺エリア〕 4月24日（日）～5月1日（日）	2006年4月29日（土）～5月6日（土） 〔東京国際フォーラム〕 5月3日（水）～5月6日（土） 〔丸の内周辺エリア〕 4月29日（土）～5月6日（土）	2007年4月29日（日）～5月6日（日） 〔東京国際フォーラム〕 5月2日（水）～5月6日（日） 〔丸の内周辺エリア〕 4月29日（日）～5月6日（日）
テーマ	ベートーヴェンと仲間たち 日本人にはもともと馴染みの深い作曲家ベートーヴェン。おなじみの名曲から知られざる佳曲までを彼とゆかりの作曲家たちの楽曲とともに紹介し、LFFならではの音楽の楽しみ方を提案。 〔主な作曲家〕 ベートーヴェン、ハイドン、シューベルト、 フンメル、モーツァルト、クレメンティ、 ツェルニー、モシエレス	モーツァルトと仲間たち 天才作曲家・モーツァルトの魅力を、交響曲、協奏曲、室内楽曲、ピアノ曲、オペラ、声楽にわたって紹介。生誕250年にふさわしい史上空前規模のモーツァルト音楽祭として開催。 〔主な作曲家〕 モーツァルト、ハイドン、フンメル、 クレメンティ、パッハ、ベートーヴェン、 リスト	民族のハーモニー 19世紀後半から20世紀にかけて、ヨーロッパ各地の伝承音楽に魅せられ民族色豊かな音楽を生み出したエコール・ナショナル（国民楽派）の作曲家たちの名曲が集結。 〔主な作曲家〕 チャイコフスキー、スメタナ、 ドヴォルザーク、シベリウス、グリーグ、 フアリャ、フォーレ、ドビュッシー
出演者数	出演者総数	1,558人	1,870人
	・海外アーティスト	462人	767人
	・国内アーティスト	350人	165人
	・市民・学生オーケストラ	251人	440人
	・関連イベント、エリアイベント	495人	498人
公演回数	総公演回数	209公演(回)	377公演(回)
	・東京・丸の内エリア、他	46公演(回)	78公演(回)
	・東京国際フォーラム(有料)	120公演(回)	145公演(回)
	・東京国際フォーラム(無料)	43公演(回)	154公演(回)
チケット販売数（有料公演）		116,508枚	160,218枚
来場者数	全体	323,687人	695,000人
	・東京・丸の内エリア、他	17,377人	205,000人
	・東京国際フォーラム(有料)	306,310人	490,000人
トピックス	◎ LFF日本初上陸 クラシックの常識や概念を大きく打ち破ったLFFがセンセーショナルなデビューを飾った ◎ 来場者の半数がクラシック初心者 32万人を超える来場者の50.7%がクラシックビギナー。クラシック音楽の裾野を拡大 ◎ ファミリーで参加“0歳からのコンサート” 小さな子どもたちにも本格的なコンサートを楽しむ機会を提供するコンサートがスタート ◎ 経済効果は推定41億円 直接経済効果と間接波及効果を含めた音楽祭開催による経済効果は41億円	◎ 69万5千人が来場 総来場者数は69万5千人。これまでのクラシックの世界では考えられない数字を記録 ◎ チケット販売率92.1% 有料公演は16万枚のチケットを販売。その販売率は92.1%となった ◎ 体験型プログラム“キッズ・プログラム” 子どもたちの音楽を感じる心を育む多彩なワークショップやコンサートを展開 ◎ 6時間にわたるTV生放送 NHK-BS2「春のモーツァルトまつり」が、会場内特設スタジオから全国へ向け発信	◎ 来場者が100万人を突破 東京国際フォーラムと丸の内・周辺エリアの8日間の来場者総数が106万人に達した ◎ 東京国際フォーラムでの開催が5日間に 有料公演、無料公演を合わせて381ものコンサートが5日間にわたって開催された ◎ 地上広場がコンサートホールに 誰でも気軽に音楽を楽しめる新たなステージ「ミュージック・キオスク」が登場し大盛況に ◎ ワールドミュージックの演奏家も登場 クラシックの楽曲のルーツである民族音楽の演奏家たちが熱きステージを繰広げた

	2008年	2009年	2010年
主 催	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム
共 催	—	—	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
アドバイザー・コミッティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会
企画制作	CREA / 梶本音楽事務所	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO
オフィシャル・チケットing・マネジメント	電子チケットぴあ	電子チケットぴあ	チケットぴあ
特別協力	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 CULTURESFRANCE、ナント市、 読売新聞社	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 CULTURESFRANCE、ナント市、 読売新聞社	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 CULTURESFRANCE、ナント市、 読売新聞社
助 成	平成20年度文化庁国際芸術交流支援事業 財団法人ローム ミュージック ファンデーション	平成21年度文化庁国際芸術交流支援事業 財団法人ローム ミュージック ファンデーション 財団法人ローランド芸術文化振興財団	平成22年度文化庁国際芸術交流支援事業 財団法人ローム ミュージック ファンデーション 財団法人ローランド芸術文化振興財団
参加事業	丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト	ショパン2010 丸の内元気文化プロジェクト
会 場	東京国際フォーラム 丸の内周辺エリア	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町エリア	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町エリア
会 期	2008年4月29日(火)～5月6日(火) 〔東京国際フォーラム〕 5月2日(金)～5月6日(火) 〔丸の内周辺エリア〕 4月29日(火)～5月6日(火)	2009年4月28日(火)～5月5日(火) 〔東京国際フォーラム〕 5月3日(日)～5月5日(火) 〔丸の内周辺エリア〕 4月28日(火)～5月5日(火)	2010年4月28日(水)～5月4日(火) 〔東京国際フォーラム〕 5月2日(日)～5月4日(火) 〔丸の内周辺エリア〕 4月28日(水)～5月4日(火)
テーマ	シューベルトとウィーン 19世紀から現代に至るまで、シューベルト自身の曲から各時代の作曲家によるシューベルトへのオマージュ作品まで、時代を超えて今につながるシューベルト像を鮮やかに描き出した。 〔主な作曲家〕 シューベルト、サリエリ、モーツァルト、ベートーヴェン、ツェルニー、シュトラウスII世、メンデルスゾーン	バッハとヨーロッパ 後世の多くの作曲家や演奏家に尊敬され、影響を与えたバッハ。彼の膨大な作品をもとに様々な観点から、バッハを現代に蘇らせる日本ではかつてない規模のバロックの祭典として開催。 〔主な作曲家〕 バッハ、クーペラン、ヴィヴァルディ、ヘンデル、ブクステフーデ、シューマン、リスト、レーガー、ヴェーベルン	ショパンの宇宙 2010年に生誕200年を迎えたショパン。19世紀における最も革新的で天才的な作曲家である彼の音楽が生まれてきた様々な背景を再現し、広大なショパンの音楽宇宙を再構築。 〔主な作曲家〕 ショパン、バッハ、ヘンデル、フンメル、ベルリオーズ、リスト、メンデルスゾーン、シューマン、ドニゼッティ、バガニニ
出演者数	出演者総数	2,169人	1,620人
	・海外アーティスト	730人	394人
	・国内アーティスト	211人	289人
	・市民・学生オーケストラ	1,228人	937人
	・関連イベント、エリアイベント		
公演回数	総公演回数	529公演(回)	419公演(回)
	・東京・丸の内エリア、他	119公演(回)	116公演(回)
	・東京国際フォーラム(有料)	221公演(回)	168公演(回)
	・東京国際フォーラム(無料)	189公演(回)	135公演(回)
チケット販売数(有料公演)		181,724枚	137,094枚
来場者数	全体	1,004,000人	711,000人
	・東京・丸の内エリア、他	364,000人	300,000人
	・東京国際フォーラム(有料)	640,000人	411,000人
トピックス	<ul style="list-style-type: none"> ◎ラ・フォル・ジュルネ学校へ行く 千代田区内小学校を演奏家が訪れワークショップを行うアウトリーチ活動を実施 ◎ボランティアが会場運営に参加 会場運営スタッフとしてボランティアを募集。心のこもった対応が高い評価を受けた ◎LFJの委嘱によるオリジナル作品初演 国内外3名の現代の作曲家にシューベルトへのオマージュ作品を委嘱 ◎金沢が世界で6番目のLFJ開催都市に 石川県立音楽堂と金沢市アートホールを中心に7日間・139公演が展開された 	<ul style="list-style-type: none"> ◎中高生席を新設 ホールAの一部公演の席を中高生を対象にワンコイン500円で販売 ◎ホールAでサービス映像を提供 後方の来場者まで演奏家の表情や手元を楽しめるようステージ脇に大型スクリーンを設置 ◎5周年記念前夜祭スペシャルコンサート LFJ 5年間の歩みを一挙に巡る一夜限りのスペシャルコンサートを前夜祭として開催 ◎エコアドバイザーが活動 東京国際フォーラムの環境保全活動の一環として社員がエコアドバイザーを務めた 	<ul style="list-style-type: none"> ◎東京都との共催 東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団との共催による開催が決定 ◎音楽祭の輪が更に広がる 東京、金沢に次いで、新潟市、びわ湖でのLFJの開催が決定 ◎新音楽祭タイトル・ロゴ アートディレクター佐藤可士和氏による新しい音楽祭タイトル・ロゴが誕生 ◎今年もオリジナル新企画が登場 クレール・オプスキュール、福袋コンサートとLFJ会場ではか楽しめないコンサートを実施

	2011年	2012年	2013年
主 催	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム
共 催	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
アドバイザー・コミティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会
企画制作	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO
オフィシャル・チケット・マネジメント	チケットぴあ	チケットぴあ	チケットぴあ
特別協力	三菱地所、フランス大使館、 フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市	読売新聞社、三菱地所、フランス大使館 フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市	読売新聞社、三菱地所、フランス大使館 フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市
助 成	公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション	公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション	笹川日仏財団 公益財団法人ローランド芸術文化振興財団 公益財団法人ローム ミュージックファンデーション Palazzetto Bru Zane財団 Nantes Just Imagine
参加事業	日独交流150周年認定事業 丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト
会 場	東京国際フォーラム よみうりホール 東京・丸の内エリア	東京国際フォーラム よみうりホール 東京・丸の内エリア	東京国際フォーラム よみうりホール 東京・丸の内エリア
会 期	2011年4月28日(木)～5月5日(木) [東京国際フォーラム、よみうりホール] 5月3日(火)～5月5日(木) [東京・丸の内エリア] 4月28日(木)～5月5日(木)	2012年4月27日(金)～5月5日(土) [東京国際フォーラム、よみうりホール] 5月3日(木)～5月5日(金) [東京・丸の内エリア] 4月27日(金)～5月5日(土)	2013年5月3日(金)～5月5日(日) [東京国際フォーラム、よみうりホール] 5月3日(金)～5月5日(日) [東京・丸の内エリア] 5月3日(金)～5月5日(日)
テーマ	タイタンたち 1850年から1950年までの約100年間、ブラームスからリヒャルト・シュトラウスを経て新ウィーン楽派にいたる音楽史の大きな転換期である「後期ロマン派」の潮流に焦点をあてた。 [主な作曲家] ブラームス、リスト、マーラー、 R.シュトラウス、シェーンベルク、 ブルックナー	サクル・リュス ロシアが誇る大作曲家であるチャイコフスキー、ラフマニノフのみならず、ロシア音楽の源泉であるロシア正教から20世紀の現代作曲家たちまで、ロシア音楽の壮大なパノラマを展開。 [主な作曲家] リムスキー＝コルサコフ、チャイコフスキー、 ラフマニノフ、ストラヴィンスキー、 プロコフィエフ、ショスタコヴィチ	パリ、至福の時 19世紀後半から現代まで、パリを彩ったフランス、スペインの作曲家たちを取り上げ、その色彩あふれ、情熱みなぎる150年間にわたる音楽パノラマを繰り広げた。 [主な作曲家] ビゼー、サン＝サーンス、ドビュッシー、 ラヴェル、フォーレ、プーランク、 メシアン、アルベニス、アリア
出演者数	出演者総数	1,342人	2,097人
	・海外アーティスト	128人	703人
	・国内アーティスト	482人	554人
	・市民・学生オーケストラ ・関連イベント、エリアイベント	732人	840人
公演回数	総公演回数	274公演(回)	351公演(回)
	・東京・丸の内エリア、他	99公演(回)	118公演(回)
	・東京国際フォーラム(有料)	90公演(回)	159公演(回)
	・東京国際フォーラム(無料)	85公演(回)	74公演(回)
チケット販売数(有料公演)		45,145枚	122,610枚
来場者数	全体	220,774人	約460,000人
	・東京・丸の内エリア、他	74,774人	約100,000人
	・東京国際フォーラム(有料)	146,000人	約360,000人
トピックス	◎東日本大震災復興支援を応援 「とどけ！音楽の力 広がれ！音楽の輪」の合言葉のもとに、復興への願いを込め開催 ◎点から、面へ本格展開 新会場・よみうりホール、有料公演アーティストの出演等、東京・丸の内エリアがさらに充実 ◎音楽大学との連携強化 公演への音大生出演、キッズ・プログラムへの制作協力等、連携を深める展開を図った ◎日本5都市でLFJ開催 鳥栖市での開催が決定。ロマン派の200年にわたるドラマが5都市にわたって繰広げられた	◎世界9都市共通テーマ 国内外すべてのLFJが、初の共通テーマ「サクル・リュス」で開催 ◎エリアの音楽祭としてさらに充実 丸の内エリアで働く方々にLFJとクラシック音楽をより身近に感じていただく新企画を実施 ◎音楽祭ボランティアを一般公募 「LFJボランティア2012」を広く一般から募集。高校生3名を含めた157名が参加 ◎若い世代を応援 音大生、キッズ、ユースの音楽心を育成する数々のプログラムを展開	◎丸の内エリアと緊密な一体感を醸成 初の同一日程での開催、LFJ2013オフィシャルガイドの発行、エリアコンサートの更なる充実 ◎フラッシュモブで音楽祭の開幕を飾る 有楽町駅前広場、丸ビル、東京国際フォーラムで、「ボレロ」によるフラッシュモブを実施 ◎音楽祭を支援する新たな仕組みづくり クラウドファンディングによる個人協賛を募り、225名の方々からご支援をいただいた ◎新たなチケット商品の発売 「1日パスポート券」、「セット券」の販売により、音楽祭の新たな楽しみ方を提案

	2014年	2015年	2016年	
主 催	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム	
共 催	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	東京都 アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	東京都 アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	
アドバイザー・コミッティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	
企画制作	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO	
オフィシャル・チケットぴあ・マネジメント	チケットぴあ	チケットぴあ	チケットぴあ	
特別協力	千代田区、読売新聞社、三菱地所 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランス日本 フランス外務省、フランス文化省 ナント市、Folle Journée Futurs	千代田区、三菱地所 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランス日本、ナント市	三菱地所、 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランス日本、ナント市	
助 成	公益財団法人ローム ミュージックファンデーション 公益財団法人ローランド芸術文化振興財団	公益財団法人ローム ミュージックファンデーション	公益財団法人ローム ミュージックファンデーション	
参加事業	日仏文化協力90周年 丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト	
会 場	東京国際フォーラム よみうりホール よみうり大手町ホール 東京・丸の内エリア	東京国際フォーラム よみうりホール 大手町・丸の内・有楽町エリア	東京国際フォーラム 日比谷野音（日比谷公園大音楽堂） 大手町・丸の内・有楽町エリア	
会 期	2014年5月3日（土）～5月5日（月） 〔東京国際フォーラム、よみうりホール、 よみうり大手町ホール〕 5月3日（土）～5月5日（月） 〔東京・丸の内エリア〕 5月3日（土）～5月5日（月）	2015年5月2日（土）～5月4日（月） 〔東京国際フォーラム、よみうりホール〕 5月2日（土）～5月4日（月） 〔大手町・丸の内・有楽町エリア〕 5月2日（土）～5月4日（月）	2016年5月3日（火）～5月5日（木） 〔東京国際フォーラム〕 5月3日（火）～5月5日（木） 〔日比谷野音〕 5月4日（水）～5月5日（木） 〔大手町・丸の内・有楽町エリア〕 5月3日（火）～5月5日（木）	
テーマ	10回記念 祝祭の日 これまで音楽祭を彩った10人の作曲家とその仲間たちが東京国際フォーラムに大集合。クラシック音楽を代表する顔ぶれが集い、10回目を祝うにふさわしい豪華なLFFが繰り広げられた。 〔主な作曲家〕 ヴィヴァルディ、モーツァルト、ショパン、 ベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、 チャイコフスキー、ドヴォルザーク、ラヴェル、 ガーシュウィン	PASSIONS パシオン 魂の奥底から放たれる強い感情«パシオン»の入口となる3つの扉として「恋」「祈り」「いのち」を設定。ルネッサンス期から20世紀初頭までの400年間にわたる広大な音楽世界が展開。 〔主な作曲家〕 J.S.バッハ、ショパン、リスト、 ベートーヴェン、ブラームス、 ラフマニノフ、スクリャービン、メシアン	la nature ナチュラル – 自然と音楽 ルネサンスから現代、ポスト・クラシカルまで、500年にわたる音楽史の中から、季節、風景、動物、天体、天地創造等の観点から選曲。驚きと発見とイマジネーションに満ちた音楽の旅を楽しんだ。 〔主な作曲家〕 ベートーヴェン、ドビュッシー、シューマン、 シューベルト、チャイコフスキー、 グリーグ、ラヴェル、ヴィヴァルディ	
出演者数	出演者総数	2,261人	2,344人	2,330人
	・海外アーティスト	573人	518人	555人
	・国内アーティスト	328人	471人	295人
	・市民・学生オーケストラ	1,360人	1,355人	1,480人
	・関連イベント、エリアイベント			
公演回数	総公演回数	366公演(回)	395公演(回)	340公演(回)
	・東京・丸の内エリア、他	137公演(回)	166公演(回)	143公演(回)
	・東京国際フォーラム(有料)	147公演(回)	135公演(回)	134公演(回) ※有料イベント8回含む
	・東京国際フォーラム(無料)	82公演(回)	94公演(回)	63公演(回)
チケット販売数（有料公演）		151,001枚	122,375枚	114,222枚
来場者数	全体	約612,000人	約427,000人	約429,000人
	・東京・丸の内エリア、他	約181,000人	約60,000人	約63,000人
	・東京国際フォーラム(有料)	約431,000人	約367,000人	約366,000人
トピックス	◎開催10回をみんなで祝う 開催10回を記念するプログラムを多彩に展開し、祝祭感に満ちあふれた空間を創出 ◎特別追加公演「祝祭の夜」 アルゲリッチ、クレメルなど世界的演奏者たちによる夢の共演に5,000人が酔いしれた ◎新たな有料公演会場 「よみうり大手町ホール」が有料公演会場に加わり、室内楽と合唱を中心に15公演開催 ◎千代田区との連携プログラム 今年から特別協力に加わった千代田区との連携により多様なプログラムを繰り広げた	◎生まれ変わったLFF 2015年より、人間の文化を貫く普遍的なキーワードをテーマとすることにより一新 ◎LFFならではの新しい音楽体験 時代やジャンルを超えたLFFならではの発見と驚きに満ちた新しい音楽体験を届けた ◎若い世代を応援 U-25割引をはじめ、未来の音楽シーンを支える若い世代を応援する取り組みを展開 ◎ホールB 7 に大型スクリーンを設置 大型スクリーンを舞台両袖に設置し、公演をより楽しんでいただけの環境をお客様に提供	◎さらに自由に、多様性の音楽祭へ 民族音楽も現代音楽も古楽も同居する世界にふたつとない音楽空間が繰り広げられた ◎日比谷野音で初開催 緑に囲まれた開放感一杯の会場で自然と一体になって音楽を楽しむ時間を提供 ◎更に多くの方がお楽しみいただけるLFFに 熱狂の日フレンズ先行発売システム利用料、公演チケット価格の見直し等を実施 ◎より地域に根ざした音楽祭をめざして 丸の内仲通り、日比谷公園等を新たな会場に加え、地域との連携をさらに強化	

	2017年	2018年	2019年
主 催	東京国際フォーラム	ラ・フォル・ジュルネ T O K Y O 2018 運営委員会 運営委員会メンバー 株式会社KAJIMOTO 株式会社東京国際フォーラム 豊島区 三菱地所株式会社	ラ・フォル・ジュルネ T O K Y O 2019 運営委員会 運営委員会メンバー 株式会社KAJIMOTO 株式会社東京国際フォーラム 三菱地所株式会社
アドバイザー・コミッティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会		
企画制作	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO
オフィシャル・チケットング・マネジメント	チケットぴあ	チケットぴあ	チケットぴあ
特別協力	三菱地所、 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、ナント市	三菱地所、 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	三菱地所
助 成	公益財団法人ローム ミュージックファンデーション	－	－
参加事業	丸の内元気文化プロジェクト	－	－
会 場	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町エリア	丸の内エリア (東京国際フォーラム・大手町・丸の内・有楽町 等) 池袋エリア (東京芸術劇場・池袋西口公園・南池袋公園 等)	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町、京橋、銀座、 日本橋、日比谷
会 期	2017年4月29日(土)～5月6日(土) [東京国際フォーラム] 5月4日(木)～5月6日(土) [大手町・丸の内・有楽町エリア] 4月29日(土)～5月6日(土)	2018年4月28日(土)～5月5日(土) [東京国際フォーラム・池袋エリア] 5月3日(木)～5月5日(土) [大手町・丸の内・有楽町エリア] 4月28日(土)～5月5日(土)	2019年5月3日(金)～5月5日(日) [東京国際フォーラム] 5月3日(金)～5月5日(日) [大手町・丸の内・有楽町、京橋、銀座、 日本橋、日比谷] 5月3日(金)～5月5日(日)
テーマ	ラ・ダンス 舞曲の祭典 ルネサンスから今日まで600年間にわたる舞曲とリズムの パノラマを展開。日本クラシック史上最大級となる舞曲 の祭典としてワクワクするような躍動感と爆発的なエネル ギーが会場全体にみなぎった。 [主な作曲家] ショパン、ブラームス、バッハ、リスト、 ファリヤ、チャイコフスキー、バルトーク、 ストラヴィンスキー、ラベル、ピアソラ	モンド・ヌーヴォー 新しい世界へ 新しい世界へと開かれた精神が異文化と出会い、刺激 に満ちた異文化の接触から生まれた様々な音楽作品に 光を当て、作曲家たちの心揺さぶる出会いのドラマを楽 しんだ。 [主な作曲家] ショパン、ラフマニノフ、プロコフィエフ、 ドヴォルザーク、ヘンデル、スカルラッティ	Carnets de voyage ボヤージュ旅から生まれた音楽 (ものがたり) 新たなインスピレーションを求めて異国の地を目指した作 曲家たちは、異文化から吸収したさまざまな刺激を自分 たちの創作に取り入れた。その作曲家たちの旅の軌跡を 多彩なプログラムと共に紹介。 [主な作曲家] モーツァルト、ハイドン、リスト、ベルリオーズ、 メンデルスゾーン、グリンカ、チャイコフスキー、 サン＝サーンス、ラヴェル、シャブリエ
出演者数	2,501人	2,458人	2,201人
・海外アーティスト	475人	468人	418人
・国内アーティスト	605人	582人	489人
・市民・学生オーケストラ			
・関連イベント、エリアイベント	1,421人	1,408人	1,294人
公演回数	326公演(回)	451公演(回) ※池袋エリア含む	298公演(回)
・東京・丸の内エリア、他	135公演(回)	200公演(回)	108公演(回)
・東京国際フォーラム(有料)	122公演(回)	178公演(回)	124公演(回)
・東京国際フォーラム(無料)	69公演(回)	73公演(回)	66公演(回)
チケット販売数(有料公演)	115,778枚	119,177枚	120,650枚
来場者数	約422,000人	約432,000人 ※池袋エリア含む	約425,000人
全体			
・東京・丸の内エリア、他	約66,000人	約92,000人	約59,000人
・東京国際フォーラム(有料)	約356,000人	約340,000人	約366,000人
トピックス	◎ LFJでしか体験できない音楽の世界 クラシックの傑作から、タンゴやフラメンコ、和太鼓 やジャズまで、多彩なプログラムが目白押し。 ◎ 参加型スペシャルプログラム ホールEキオスクステージでは子どもから大人まで 踊って楽しめるスペシャル企画を実施。 ◎ 生まれ変わった地上広場イベントステージ 地上広場キオスクがイベントステージへと進化し 多彩な企画とフレッシュな演奏が繰り広げられた。 ◎ LFJチケット販売サイト “誰でも、いつでも、手数料無料”でチケットを購入 できるオフィシャルチケット販売サイトを開設。	◎ 進化し続ける音楽祭 誰もが知っているクラシックの超名曲からレア曲、 さらに地中海のクロスオーバー・ミュージックまで、 ますますボーダレスに進化した音楽祭。 ◎ 池袋エリアでも同時開催 新たに池袋エリアでも3日間同時開催。LFJ& 池袋ならではの趣向に富んだ内容を展開。 ◎ 音楽祭の名称をリニューアル 池袋エリアへの拡大を機に、これまでの名称 「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」を一新。 都内2か所に広がることによって、東京という都 市の魅力を一層発信。	◎ 15回目を迎えた音楽祭 2005年の日本初上陸から15回目の開催を迎 え、“チケット1枚から始まる音楽三昧”の醍醐味 を今年も多くの方々に体験いただいた。 ◎ 参加型プログラムが更に充実 ホールEでの聴衆参加型スペシャル公演に加え、 演奏に参加できる“みんなで「宝島」”、3歳以上 対象の「キッズのためのオーケストラコンサート」と 客席からも参加できるプログラムが繰り広げられた。 ◎ チケット購入が便利に スマホで簡単に利用できる電子チケットを本格導 入。公式サイトにわかりやすい残席表示を導入。

	2023年	2024年	2025年	
主 催	ラ・フォル・ジ・ール TOKYO 2023 運営委員会	ラ・フォル・ジ・ール TOKYO 2024 運営委員会	ラ・フォル・ジ・ール TOKYO 2025 運営委員会	
共 催	※上記委員会メンバー 三菱地所株式会社 株式会社東京国際フォーラム 株式会社KAJIMOTO	※上記委員会メンバー 三菱地所株式会社 株式会社東京国際フォーラム 株式会社KAJIMOTO	※上記委員会メンバー 三菱地所株式会社 株式会社東京国際フォーラム 株式会社KAJIMOTO	
アドバイザー・コミッティー				
企画制作	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO	
オフィシャル・チケットिंग・マネジメント	チケットぴあ	チケットぴあ	チケットぴあ	
特別協力	三菱地所	三菱地所	三菱地所	
助 成	-	ロームミュージックファンデーション	-	
参加事業	-	-	-	
会 場	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町、東京駅、京橋、銀座、日本橋、日比谷エリア	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町、東京駅、京橋、銀座、八重洲、日比谷エリア	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町、東京駅、京橋、銀座、八重洲、日比谷、みなとみらいエリア	
会 期	2023年5月4日（木）～5月6日（土） [東京国際フォーラム] 5月4日（木）～5月6日（土） [大手町・丸の内・有楽町、京橋、銀座、日本橋、日比谷] 5月4日（木）～5月6日（土）	2024年5月3日（金）～5月5日（日） [東京国際フォーラム] 5月3日（金）～5月5日（日） [大手町・丸の内・有楽町、京橋、銀座、八重洲、日比谷] 5月3日（金）～5月5日（日）	2025年5月3日（土）～5月5日（月） [東京国際フォーラム] 5月3日（土）～5月5日（月） [大手町・丸の内・有楽町、東京駅、京橋、銀座、八重洲、日比谷、みなとみらい] 5月3日（土）～5月5日（月）	
テーマ	BEETHOVEN－ベートーヴェン 3年越しベートーヴェンの生誕250周年を記念し、傑作の数々を改めて紹介するとともに、滅多に聴くことのできない「レア」な楽曲や、19～21世紀の作曲家によるオマージュ作品にも光を当てた。 [主な作曲家] ベートーヴェン	ORIGINES(オリジン)－すべてはここからはじまった 音楽の「オリジン（起源、ルーツ）」に立ち返り、幾世紀にもわたり、世界のあらゆる国々の作曲家たちをインスパイアしてきた様々な音楽の伝統に、スポットライトを当てた。 [主な作曲家] ムソルグスキー、チャイコフスキー、スメタナ、ドヴォルザーク、コダーイ、バルトーク、グリーグ、シベリウス、アルベニス、ラヴェル、ビゼー	Mémoires(メモワール)――音楽の時空旅行 音楽の発展に多大な貢献をした都市とその時代にスポットライトを当てた。音楽史が、一時期に文化・創造の中心地となった大都市を軸に形成されてきたことと共に紹介した。 [主な作曲家] ベートーヴェン、シューベルト、ハイドン、モーツァルト、メンデルスゾーン、ラヴェル、J.シュトラウス2世	
出演者数	出演者総数	1,247人	1,737人	1,910人
	・海外アーティスト	32人	46人	141人
	・国内アーティスト	727人	735人	662人
	・市民・学生オーケストラ ・関連イベント、エリアイベント	488人	956人	1,107人
公演回数	総公演回数	184公演（回）	242公演（回）	268公演（回）
	・東京・丸の内エリア、他	98公演（回）	111公演（回）	134公演（回）
	・東京国際フォーラム(有料)	65公演（回）※マスタークラス含む	90公演（回）※マスタークラス含む	90公演（回）※マスタークラス含む
	・東京国際フォーラム(無料)	21公演（回）	41公演（回）	44公演（回）
ツト販売数（有料公演）		86,542枚	91,004枚	83,851枚
販売可能チケット枚数		98,074	104,502	104,616
販売率		88.2%	87.1%	80.2%
来場者数	全体	約180,000人	約200,000人	約193,000人
	・東京・丸の内エリア、他	約30,000人	約43,000人	約38,000人
	・東京国際フォーラム(有料)	約150,000人	約157,000人	約155,000人
トピックス	◎4年ぶりの開催 新型コロナウイルスの影響を受け、2020年より開催を断念していたLFFが4年ぶりに復活。ホールA、ホールB、ホールD7を有料公演会場とし、ホールB5でマスタークラス講演会を、ロビーギャラリーやガラス棟会議室では出展者ブースを展開した。天候にも恵まれ、地上広域では多くの人が、フードやドリンク、ステージを楽しんだ。 ◎音楽を身体で楽しむ 音楽を視覚(光)と触覚(振動)で感じられる音楽装置「SOUND HUG」(サウンドハグ)席を設け、障害の有無によらない新しい音楽の楽しみ方を提案	◎すべてはここからはじまった 中世・バロック・ルネサンスなどの古楽からジャズに至るまでの流れにスポットを当て、それぞれの音楽のルーツを紐解くプログラムや楽器の起源などあらゆる“ORIGINES（起源）”を紹介。さらにバイオニア的作品―その並外れた革新性によって新たな道を切り拓き、音楽史の流れを変えた作品―も取り上げた。 ◎復活を願う声にお応えして 復活を願う声の多かった有料公演会場（G409）、さらに無料公演会場（ホールE）※も5年ぶりに復活 ※有料公演チケット（及び半券）の提示が必要	◎大都市を軸に形成されてきた音楽史 1600年から1750年までのヴェネツィア、18世紀前半のロンドン、18世紀半ばのウィーン、19・20世紀転換期のパリ、20世紀のニューヨーク等にスポットを当てて調べたお楽しみいただく公演や、世界のジャズシーンを牽引する名門クラブ精鋭バンドがLFFに初登場した。 ◎LFFストリングスEXPO初開催 国内外の様々な弦楽器（バイオリン、チェロ、コントラバス、等）が一堂に集結。会場でしか出会えない一流の楽器・道具を試奏したり、生演奏やトークも楽しめる新企画を提供	